



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル及びオンライン
 会長 富田 洋平 幹事 石原 忠始
 事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
 TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2021-22年度 国際ロータリーテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

例会報告 第837回 2022年2月14日(月)
オンライン例会

出席率 50.94% 接続会員数27名+メンバー0名
(正会員58名-休会5名)

📌 開始(高橋肇SAA 委員司会担当)

定刻となりましたのでこれより第837回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、予め個人情報の許諾をお願い致します。

📌 富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

- パソコン好き

私の知り合いの社長さんは、中古のパソコンを作りそれを販売するという会社で、日本でマイクロソフトの認定を受けた会社が7社しかないらしいですけれど、その1社に入ってる会社なんですね。この方曰く「日々技術革新が行われていて新しいパソコンがどんどん出てくる。ただ、車のモデルチェンジと同じようにそう簡単に、「すごいね、このパソコン」ではなく、「少しずつ変わっていく」そうです。その組み立て直したパソコンで、色々出ているパソコンに引けを取らない容量だったり、できることを組み換えてそれを売り出しているの、このパソコン非常に安いんですよ。4万円とか5万円で売ろうです。こういうことで、CO₂の削減にかなり寄与していて、年間20万本分のポプラの木を守っているに等しいと言われているそうです。この彼は今51歳ですけど、小さいころ自分は何の取柄もありませんでした。唯とある大人の方が与えてくれたコンピューターというものを昔から始めていて、ファミリーコンピューター、任天堂でファミリーベーシックなどのプログラミングのことだけは誰にも負けない自信があったということなんです。勉強も運動も全然できなかったと、だけどパソコンを手にしてそれをいじって、好きで得意だったという風におっしゃっているんですね。で、今やもうこのコンピューターの会社、パソコンを組み直して売る会社で年間20億円近い売上げですけど、彼の持論は「教育格差いっぱいあるよね。英会話に通える子もいるし通えない子もいる。塾に通える子も通えない子もいる。だけどこのままずっと差が開いたままいくとすごく大変ですよ。」確かにそうです。

- 格差是正にパソコン寄贈

今、IT業界に対する人口って、これを見れる人、これが分かる人って少なく、もっともっと求められている時代なんですね。もっと言うと、ステイブジョブスさんも若いころは貧しくて、ご飯を食べられなかったというんですね。あの人もどこかのタイミングでパソコンに触れ、プログラミングに触れ、今や皆さんに知れ渡るような名前になっていると考えると、子どもの能力というのは小さいころからPCに触れるか、触れないかの環境の違いなんじゃないかと考えています。で、彼は自分のできる範囲でPCの環境にない子どもたちにパソコンを寄贈して廻っているんですね。これはすごくいいヒントだなと思っているんです。うちの14歳になる長男も小さいころからプログラミングの学校に通っています。まったく抵抗がないんですよ。パソコンをいじることに。今はもう学校はZoomでやっていますけれど、それ以外にも自分で何かを作ったり、大人である私もすげえなと思うくらい。でもこれって早く触ったかどうかの環境の違いなんじゃないかと私も思っているんです。そう考えたときに4万円とか5万円くらいだったら、私何十台は無理でも1年で3人とか4人位の子どもたちにパソコンを寄付することは全然できるんじゃないかと思えますし、たとえば育成園の子どもたちにPC 2台だけ寄贈してどういう風に使うんですよとその会社は教えていただけるんです。教育してくれるんですね。こういう会社って世の中にいっぱいあると思えますし、こういうことをやってくれる人は世の中に結構いらっしゃるんじゃないかと思えます。そういった意味で教育格差をすぐ解消することはできないと思うんですが、PCを配布して、最初は10人とか15人いるのに2台しかPCがない環境かもしれない。だけどこうやってゲームって作るのよとかこうやって使っているんなことが調べられるんで百科事典がこの中に入っているのと同じなんだよというみたいなことを小さいうちから教えることってすごく大事なんじゃないかなと思うし、可能性がすごく増えるんじゃないかなと思いました。

- ロータリーの活動として

クラブとして取り組むのもいいですし、自分自身でも意味のあること、こんなような活動もすごくいいのかなと思いました。あのこのクラブの中にもですね、PCが得意な方、パソコンマニアというんですか、すごくこういうのに明るい方がいらっしゃると思うんですけれども、この能力っていうのは早く触れるか触れないかの違いじゃないかと考えてですね、ちょっとこんなような活動を私自身の自分自身からスタートしてもいいのかな

ということを思った先週がございましたので、ちょっと皆さんにご報告をさせていただきました。この後クラブ協議会で奉仕のことをお話させていただきますけども、いろんな人に会っていると色々なヒントって出てくるもんだなということがありましたのでシェアさせていただきました。

✦ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- 例会後本日第4回のクラブ協議会が行われますので皆さんご参加よろしくお願い致します。
- 今月は来週再来週はまん防の延長に伴ってオンライン開催となります。実例会は見送りになっています。まん防が解除されれば3月7日にハイブリッドが行えればと思っております。

✦ ブレイクアウトセッション

(本日のお題)

バレンタインデーにちなんで恋バナ

初恋・今のパートナーとの馴れ初めなど

(ファシリテーター)

一番背の低い人

✦ 閉会点鐘 (富田洋平会長)

皆さんこの後クラブ協議会になりますので、ブレイクアウトルームはこれまでといたします。ブレイクアウトルームいいですね。少人数だからお話しできること沢山あったんじゃないですか。私のところは皆が、へえ、そうなの、という感じだったんです。

お互いのことをこんな風にして少し知るといってもいいなと思いますので、これからもブレイクアウト、うまく使っていきたいなと思います。

一旦例会は閉会致します。

✦ 【クラブ協議会】

テーマ「奉仕活動を考える (意見交換)」

(司会 石原幹事)

それでは富田会長挨拶をお願いします。

(富田会長挨拶)

先日例会次第を送らせていただいたところにも書かせていただいたんですけども、この時期は、「奉仕を考える」ということでずっとやってると思うんですけども、富田年度も同じように時間を使わせていただきたいなと思います。

富田年度も折り返しを過ぎて、残すところも4ヵ月となったんですけど、こんなところで足止めしている場合じゃないなと本当に思っています。本来だったら地区大会もやっていたし、周年行事の準備もリアルに集って忙しくしていたところだったし、IMも本当は3月の予定でしたし、こんなような状況になっているところなんです。今一度だからこそできる奉仕活動を考える、ということでやりたいと思います。

今日は予め発表する方は決まっています。ただ、これを聞いて、「あっ、これいいよね」という「応援したいな」「これ取り入れたいな」というところ、「私だったらこうできるんじゃないか」とか「改めてこんなことどうなんだろう」というのを今日は是非クラブ協議会が終わった後に奉仕プロジェクトの委員の方、私にでもけっこうですので、直接お電話・メールをいただけるとすごく有難いなと思います。

意見1 (中西会員)

One World, One Music

音楽がひと、地域、社会、世界をつなぐ

若い人の力を結集して

「芸術 (音楽) を通して人と地域社会に笑顔と元気をもたらす」

- 前回 (2021年10月18日第823回週報記事) 発表した続きからお話ししたいと思います。前回は音楽が持つ力の事例をいくつか紹介致しました。つまり、いろいろ生きる力とか協調する、地域貢献をする、そして一緒に協力しながら何かを創作する、作り上げていくところまでお話し申し上げました。先日ちょっとお話ししたかったのは地域でどういう活動をなさっているという動画があったんですが、時間的にそれをお見せすることができなかつたんですが、今日は音楽がどういった風に若い人の力で達成できるかっていうところをお話し申し上げたいと思います。
- 2022年2月14日 (月)

仲間と一緒に歌い、楽器を奏でることは大きな喜びであり、子どもたちを前進させています。子どもたちは日々の練習の成果を地域の敬老会や子ども音楽祭、海外のユース・オーケストラや世界的アーティスト



富田洋平会長 大好きな小平選手へスピードスケートの1000mの健闘を祈って、ニコニコします。

大盛敬子会員 皆さん雪の影響はいかがでしたか？私の住んでいる足立区の方は雪は降りませんでした。なのでニコニコします！

かづきれいこ会員 お陰様で、弊社のスタッフからはコロナ陽性者は出ておりませんが、家族の方が濃厚接触者に該当し、自宅待機者しております。1日も早く終息する日を、心よりお祈り申し上げます。

矢部祐加子会員 今日はバレンタインデーですね。チョコのかわりにニコニコします。

ここに合計 17,000円

トとの共演といった形で公の場で披露してきました。音楽を通じて自己を表現し、仲間と連帯意識を深め、又受け手とも繋がるという経験は、子どもたちにとってかけがえのないものとなっています。

〈クラブ活動案〉

音楽×青少年(大学生) ×社会貢献

- ① 中央区など近隣の小学校(音楽部・吹奏楽部・オーケストラ部) 学校訪問・楽器指導
→小学生と大学生、先生と合同演奏
- ② 中央区とその他地域 小学生・中学生・高校生・大学生参加
合同音楽祭開催
- ③ アジア音楽交流 オンラインでも可能
協力団体：桜美林大学 芸術文化学群
音楽専修
管楽器ゼミ 学生 管楽器教授
2名
中央大学 ローターアクト

- 2022年3月7日
実際の事例の発表会予定
福島県での事例(エルシステムジャパン)
- 中央区泰明小学校 画廊巡り時小学生の演奏があった。そこにジョイントできるか。
- 当クラブとして地域の子どもたちと音楽での交流の場を提供
- 中央大学ローターアクトが音楽(楽器)ができるか、身の廻りの音楽ならできる。
- 「画廊巡り」の実施もかなり時間がかかる作業
いろんなロータークラブを紹介するがいろんな団体からの声掛けが多い。
実現にはそれなりに時間を使う覚悟が必要

意見2(福元会員)

中央大学ローターアクトクラブ会員数75名(日本一)
コロナ禍で自由に集まれない。十分な奉仕活動ができない。会員のモチベーションの維持が困難。
「マイクロプラスチックストーリー」という映画。

僕らが作る2050年

自主上映活動

プラスチック汚染問題にニューヨークの小学校4年生が立上がる!

1年以上かけてマイクロプラスチックって何だろうと、どうして自分たちにいけないことか?

マイクロプラスチックはどこから流れてくるの?

いろんな調査活動をして取り組んだドキュメント。ブルックリンの小学生が実践する変革のレシピ!

マイクロプラスチックが有害物質を吸い込み、魚がそれを食べて、それを自分達が食べるということをそれは本当に気持ち悪いことだと気付いていって、最後にいろんなアクションを起こす!

環境問題を小学校4年生の視点から分析。

監督とディスカッションの会合

自主上映会活動 予算2万円

中央大学アクトクラブに提案中

他のアクトクラブも巻き込んで活動を広げる。

映画 1時間16分 環境問題を考えるきっかけ

意見3(城会員)

コロナのときになにができるだろう。あったらいいな。

私はちょっとしたグリーティングにユニセフのカードを使う。当クラブのロゴの入ったカードを制作して会員又は皆さんが購入できるようにする。その資金を奉仕活動へつなげる。オンラインで絵を描く機会を増やす。

意見4(井関会員)

私からは元ロータリーの交換留学生であった三松佳代子さんが行っているボランティア団体「ヨガギブズバック」のインドの女性と子どもたちへの支援(2021年5月17日第810回週報の卓話記事)について皆様に相談をしたいと思います。グローバル補助金の対象となり次年度に続けていきたいと思っています。

いくつか活動の柱がありますが、そのうちのひとつで、2006年にノーベル平和賞を受賞されたムハマド・ユヌスが始めたマイクロファイナンスを広げる活動を支援したいと思っています。女性と子どもたちをグループに分けて、DVとか様々な課題を抱えているグループをいくつか作りまして、そこへ一人年間25\$を貸し付けて、その元手でグループがビジネスをスタートさせるというものです。手芸品、ビーズを縫ったりとかの小さなビジネスをスタートできるという少額ローンです。こちらにロータークラブが少しでも貢献できれば素晴らしいのではないかなと思いました。一応寄付金額の目標金額は20万円としております。

2019年にインドのロータリアンの訪問があって、私たちのクラブでも随分交流させていただいたと思うんですけど、インドへの支援ができたらいいねという話も皆さんされていたので、とてもタイムリーな企画だと思います。以上です。

(山下会長エレクト)

私の年度でも活動をすすめてもらいたいと思っています。インドの悲惨な女性や子どもたちを困難な状況から少しでも抜け出せるようにインドのヨガから与えられたものを少しでもインドへお返ししようというヨガギブズバックにロータリーとして何らかの支援をできないかのご提案で実現できれば、国際奉仕として素晴らしいと思います。

(富田会長)

グローバル補助金は手続が少し煩雑であるので早めに申請をした方がよろしいんじゃないかというところもあります。

(井関会員)

いろいろな人に聞いても、あまり詳しい人はいらっしやなくて、当クラブではまだグローバル補助金を使ったことはないことがわかりました。

(富田会長)

フィリピンのハローアルソン支援活動はグローバル補助金ではなく地区の補助金でやっています。

(野呂会員)

うちのクラブではグローバル補助金を使ったことがなくて、グローバル補助金は先方のロータリークラブと組んで、向こうから1\$でも資金を出してもらえないといけないので、一応私たちはインドのロータリーとパイプがあるので、そこを通してやらないといけないという縛りがあったということです。グローバル補助金も現地のロータリークラブにお金が行く動きになるかもしれません。

(井関会員)

ヨガギブズバックの活動も西ベンガルと団体とつながりがあって活動しているので、そのルート調べてみたいと思います。

(山下会長エレクト)

私が広島ロータリーにいたときも、バン格拉デッシュのロータリークラブと組んで、400万円か500万円の予算でスクールバス2台とパソコン4台を現地へ贈ったんですが、昔はマッチンググラントと言っていたんですが、本件はインドのロータリークラブと組めばできるんじゃないかと思っています。

意見5 (富田会長)

東京育成園の件ですが、前回もお話ししてと思いますが、今年度の各年度の卒業生ですが、小学校6年生が7名、中学校3年生が3名、高校3年生が2名、計12名が卒業されます。6年生と中学3年生はこの後また育成園に残るんですが、高校3年生は育成園も卒業ということになり社会に出ます。野に放たれます。当クラブは有志で小学6年生と中学3年生に向けたビデオレターを作成したいなと思っています。夏にもやったんですけどもね。特にこの10年間に育成園のサマーキャンプに参加した方たちは、この10名とおそらく面識があるんじゃないかなと思うんですが、私事で申し上げると4年前に行った

時のたくや君、「タク」って呼んでいます、タクは今小学校6年生になって、聞くところによるとすごい成長して今年世田谷区のサッカー大会で準優勝をし、そこでキャプテンを務めていたと昨日高橋校長からお話をお聞きしました。見ないうちに本当に子どもは成長して大きくなって、立派になってるなって思いました。

ちなみにこの2018年度の夏にサマーキャンプに行った会員の方は当時小学6年生がいたと思うんですね、この子たちが今回中学校3年生になって、結構会ってる方たちいるんじゃないかというふうに思います。この10名の方たちには伊藤奉仕委員長が中心となってビデオレターを作成して、ちょっとしたプレゼントと一緒に育成園に卒業祝いとして送りたいなというふうに考えています。これに関して、先方側の先生方もすごく喜んで、「ありがたいです。楽しみにします。」というふうに言っていておられます。

次に高校生の二人に関しては、ちなみにちょっともう18歳ですよ、石川さん誰だと思いませんか？

あきら君とまなぶ君って、知ってますか？ 石川さんに会ったころはまだ小学校2年生だったんですが。（「本当本当。あの二人がと思っちゃいますね。」（石川会員））この二人が対象になっています。ちなみにあきちゃんは4年制の大学に進学します。まなぶ君は警備会社への就職が決まっています。こちらのお二人には、社会に出るにあたって、大学生になるにあたって、二人は住み慣れた育成園という小っちゃな環境から大海原へ出て行く訳なんで人付き合いは大丈夫なんかなとすごく不安に思っています。そんなイロハって教えていただくことができますかね、みたいな話があったんですね。ということで、コミュニケーションの授業をしてほしいなということがあるみたいなんです。

それとか社会に出るに当たっての最低限これくらいの常識はあったほうがいいんじゃないかの話もできればと思っています。太田さんから日経新聞の読み方講座なんて、10分くらいでどうですかね。

(太田会員)

太田です。私も育成園の卒業生のことをケアしたほうがいいと思ひまして、卒業するにあたって、そういう新聞の読み方なんか、お伝えするっていうのはいつでもやりたいと思っています。それと、私が非常に気にかけているのはこれからお二人のうち一人は大学生になられると、この方はローターアクトの皆様のお力とか借りてどういうふうに大学生活を送るかっていうのをいろいろあの話し合う機会を作っていただければいいと思うんですけども、就職なさる子は就職する前だけじゃなくて就職した後のケアっていうのをしとあげるのが一番大事じゃないかなと思うんですよ。だからまあ、すべてを就職する前

に伝えるってことはできないので、実際に就職してから対人関係とかそういうことで悩んだりすることもあるので、月に1回でもどなたか私も含めてカウンセリングっていうかお話を聞いてあげるとか機会を体制として常に確保していく、そういう機会を我々が提供できればいいんじゃないかなと思っています。

(富田会長)

- 働いていてもすぐに仕事を辞めてしまう子どももいるっていうこともあるので、悩みが出てきたり、どうしていいかわからないときに相談をする大人たちがいないっていうことが問題なんじゃないかと私も思います。折角ここにいる皆さんですから、先生方にも受け入れていただけるんじゃないかと思っておりますので、是非長期にわたっての活動としてやっていきたいと思っています。

実は太田さんがおっしゃったとおり、中央大学のローターアクトもこれには賛成していて、大学生になる子にはちょっと年上の先輩方たちからのメッセージみたいなものをお話しいただけるみたいです。その上のセントラルローターアクトになると働いている人たちとの情報交換っていうことだってできるところとも連携しながら長きにわたって並走できる形を整えられればと思います、今回2月下旬から3月上旬にかけてまずはファーストコンタクトを踏み出したいと思っています。

- 私のほうから今回お伝えしたいことは2つありまして、小学校6年生と中学校3年生に対してビデオレターの作成をZoom画面上で行いますのでこれは時間のある方に集まっていただいて作るのと、あとは3月上旬・中旬、3月中に1、2回高校3年生の二人に対するちょっとした講座みたいなものを開きたいなと思っています。

で、この後もフォローできるような体制をこれから考えていきますのでオファーがあった際は是非引受けていただけるとありがたいです。

6 その他

(山下会長エレクト)

次年度補助金といいますか、次年度奉仕活動として何をやりたいかという、皆さん奉仕と親睦をやりたいという意見が集ってきているので、全員からアンケートを取らせていただければと思ひまして、「奉仕活動の提案」っていうのを、地域奉仕活動と国際奉仕活動に分けて、どんなことをしたいかというのを、書いていただきたいなと思ひまして。皆さんに後からメールします。

(水野次年度社会奉仕委員長)

社会福祉協議会に加入したんですが、まだ具体的な活動を始められていないといひますか、そこか

ら何ができるかというのを探りたいんですけども、一つは子ども食堂に関わりたいというご意見があったという経緯があったと思うんですが、中央区では区が関わっている子ども食堂だと思うんですけど、2つありましてそこは今コロナ禍の間でも続けているようなんですね。なので、そこ何か連携していくか、何か人的にとか提供するのか、まずでも行ってみたいというのがあるんですけど、私中央区民じゃないので、行っていいのか若干不安ではありますが、そういうところから始めたいというのがあります。

それと山下エレクトからご提案いただいた中央区でやっている花壇ボランティア事業、あちこちで花壇を整備するというボランティアですが、私たちがロータリークラブとして参加するというのが現実的じゃないかと思っています。

(南会員)

中央区はかなり参加している方がいらっしやいますね。隅田川でもいっぱい花壇があるので関わっている方はかなりいると思うんです。で、私が提案するのは中央区で年配のひととかにいろんな講習会、和菓子を作ったりとか防災の品物を作ったりとか、フラワーアレンジメントの講習とか趣味のものも充実してやっているんですけども、皆費用が1人2,500円とかかかるようになってるのね。大体一つの講座が15人、25人位までをその2,500円の参加費をクラブが提供して無料にするのに協賛したらどうかなと思っただけですけど。ご参考まで。

(要約文責 宮下)

例会報告 第838回 2022年2月21日(月)
オンライン例会

出席率 37.74% 接続会員数20名+メーキャップ0名
(正会員58名-休会5名)

🎯 開始

定刻となりましたのでこれより第838回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録音致しますので、ご参加の皆様は予め個人情報の許諾をお願い致します。

🎯 富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは！

三週に亘って五輪の話をしたので、最後も五輪で締めようかなと思います。17日間の北京五輪が昨日閉幕いたしました。前回の平昌を上回って、史上最高18個のメダルとなりました。私いつも冬のオリンピックですごく思い出に残っているんですけども、2006年、イタリアのトリノのオリンピック、メダルゼロだったんですよ。だけど、最後の最後に、荒川静香さんイナバウアーやって金メダルとってめちゃくちゃ感動したのすごく覚えてて。そこから比べると、日本の競技レベルっていうんですか、18個のメダル、すごくあがってきてるなと感じました。カーリング女子の日本代表、ロコ・ソラーレですね、私の地元北海道の。実は、スキップの藤澤五月さんて北見の保険代理店の職員だって知ってました？ 最後イギリスに敗れ金メダルこそ逃しましたが、本当に立派な銀メダル獲得、すごいなあと思いました。みんなで勝ち取ったっていう讚える表情もすごくいいなって思いました。マスコミでも話題になってた、スキップの藤澤五月さんの右手に書かれている決意の言葉が新聞にもよくでてましたけど、「Move together (共に動く)」、「Trust yourself (自分を信じる)」、「Have a fun(楽しもう)」。これよく考えてみると、我々ロータリアンにもぴったりの言葉なんじゃないかなって思っています。やっぱりみんなで動くってこと。それで自分でなにか提案して、自分を信じてこう巻き込んでやっていくということ。何よりも奉仕と親睦、楽しまなければ意味がないということ。今月も来月もできることを元気にやっていきたいなというふうに思っています。

それでは第838回例会を開催致します。点鐘。

🎯 ロータリーソング

「それでこそロータリー」

🎯 卓話者・ゲスト発表 (安原良昭SAA委員長)

オンライン例会によくそいっしょいました。

本日はリバースイニシエーションのため卓話はありません。

またその他ゲストもいっしょいません。

🎯 奉仕プログラム委員会報告 (海渡千佳奉仕プログラム担当理事)

皆さんこんにちは。奉仕プログラム委員会からお知らせします。

先週メールとLINEでお知らせ致しましたけれども、東京育成園の子どもたちへビデオレターを送るということで、収録の日程調整をお願いしております。Zoom上でメッセージ収録を行い、編集してお渡しをする予定です。できるだけ皆様に御参加いただきたいのですが、収録日を2日くらいとりますので、調整さんのほうに入力いただいて、できるだけ参加できる日にしたいと思います。明日のお昼12時までには、もしまだ入力していない方は入力をお願い致します。よくわからないという場合にはメールまたはLINEでご返信いただければ対応いたします。これはアンケートですので、当日都合がよくなったという方は是非お入りいただきたいと思います。明日の午後以降に詳しい決定した日程はお知らせするようにいたします。よろしくお祈りします。

🎯 周年イベントチーム発表 (周年行事副委員長福元智子会員)

はい、皆様こんにちは。4月11日の周年行事に向けて、急ピッチでいろんなことが進んでおりますけれども、そんななかで音楽イベントチームの方からお知らせがございまして。今回周年イベントの中で、金子バンドと我々会員で歌ったり踊ったりを企画しております。踊りも結構本格的に、振付も付けてやろうと思っていますので、相当楽しいんじゃないかと思っています。是非、参加したいという方、歌いたい方、手を挙げていただいて、事務局もしくは大盛さんにご連絡いただければと思います。2月末までとなっておりますので、皆さん奮ってご応募お願いいたします。

🎯 ご連絡 (富田洋平会長)

- 今福元さんの方からお話ありましたが、ここに今日出席している方、約20名なんですよ。あと40名いますから、是非、今日こんな話があったよ、「あなた、ドラム、じゃない、あなたギターでできなかったっけ」みたいに知ってる人は伝えてあげてほしいと思っています。もしくは、あの人これできるの知ってるというのがあったら是非教えていただきたいと思っています。なるべく多くの方に参加頂いて盛り上げていきたいと思っています。
- 育成園ですけれども、先週末に、育成園の高橋副委員長と私でお話をさせていただいております。周年行事の中で育成園の子どもたちがメッセージか何かで出演できないかというオファーを入れております。勿論顔が出ることはNGなので、顔は出さずに声だけの出演だったり、もしくは石川さんのところで

アニメのアテレコだったり、少しでも子どもたちの声でもいいので出演のオファーをかけています。おそらく、今日先生方の会議で出して頂き、明日には回答来るんじゃないかなと思います。前向きに検討しますという風に言っていたので、周年行事の中で育成園の子どもたちと一緒に何かのコーナーを設けてひとつのものにしたいなというふうを考えております。

- 小中学生に対するビデオメッセージに関しては、さっき海渡さんがおっしゃったとおりとなっております。高校生に関するいわゆる卒業送り出し勉強会も併行して検討しているところがございます。これは育成園の先生方との調整のあとに皆様にまたお伝えすることになるかと思うんですけれども、太田会員がこの前のクラブ協議会で言っていたいただいたとおり、一過性のもので終わるのではなくて、継続的にこれをしていきたいと考えています。毎月ではなくても、2ヵ月でも3ヵ月でもいいので、社会に出て行きたいいわゆる社会人、大学に進学した、育成園を卒業した18歳以上の方たちに対して、やっぱり私たちの持っている知識であったり考えだったりをちゃんとお伝えできるような、そして彼らの彼女たちのためになるような時間を1時間でも毎月、2ヵ月に1回でも3ヵ月に1回でも、とっていきたいと考えておりますので、これはクラブとして取り組みたい。この話をローターアクトにしたところ、非常に乗り気で、1年の活動計画の中の一つの柱として、育成園の卒業していった子どもたちとの交流プラス勉強会の講師を務めることもやぶさかではないと言ってくれているので、ここも今後大きなコラボができるんじゃないかなと思っています。
- 最後に、パソコンの話をちょっとさせて下さい。この育成園のところに、PCをですね、クラブとしてはのちほどまた理事会の中でお話も出させていただこうと思っていますけれども、取り急ぎ私の方で寄贈したいと考えています。育成園のなかにパソコンルームを作ってもらい、そこに2台くらいパソコンおいて、好きなように使っていただくと考えています。ただ置いておいても意味はないので、定期的にフォローしてもらえらる講師がいないかなと考えていた矢先に井関さんの会社で、無償でメンテナンスとか教育・講義みたいのをしていただけるかもしれないと井関さんからいただいたので、理事会にもかけますけれども、このようなことも考えてやっていきたいと思っています。

パソコン屋さんにもこの話をしたら非常に共感してくれて、「私も1台パソコン出したいです。」と言ってくれたりして、クラブとしてやれたら非常にいいかなと思っています。こういうひとつひとつの取り組みを少しずつ大きく広げていければいいかなと思っています。

❖ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- 皆さんにメールで1月19日にご連絡致しましたが、第9回奉仕の集い、3月23日水曜日に赤坂区民センターで行われる予定です。これについて奉仕関係の方、あるいは入会5年未満の会員のみならず、皆さんのご参加をいただきたいということで、添付で参加の申込書が入っておりますので、また事務局の方へそのパンフレットが今日到着したので、お手元に送られると思いますが、一応今月末が締め切り、あと1週間です。参加の方はよろしくお願ひ致します。
- 新会員オリエンテーションが3月18日、ホテルメルパルク東京で行われるとご案内しております。新入会員、特に1年未満の方は是非積極的にご参加頂いて、ロータリーはどういうものか、ロータリーの奉仕活動はどういうことかということで、参加費は無料ですので、ご参加頂ければと思います。この添付資料が分からない方は事務局のほうにご連絡いただければ改めてお送りできると思いますので、よろしくお願ひ致します。

(石川会員)

地区の新入会員オリエンテーションの件なんですけれども、今私が幹事です、研修担当をしております、あの、1年未満じゃなくてもまだまだどなたでも参加オッケーなので、また改めてロータリーのことを知りたいというふうにいる方は是非ご参加下さい。あのいろんなクラブの方もご参加になるので、うちのクラブのことだけではなく、いろんな方とコミュニケーションとれるので、是非皆さん積極的にご参加頂ければと思っています。

❖ 【ブレイクアウトセッション】

(福元智子会員)

本日のお題

最近感動した映画

最近読んでよかった本

ファシリテーター

末っ子の人もしくは一人っ子の方



富田 洋平 会長	北京五輪閉幕いたしましたね。日本選手、最高のメダル数。たくさんの勇気と感動を頂きました。
大盛 敬子 会員	来月誕生日のご招待ありがとうございました、生憎欠席となりますが宜しくお願ひ致します。
野呂 洋子 会員	本日、例会に参加できませんのでニコニコいたします。
山下 江 会員	2月23日はロータリー創設記念日です。奉仕と親睦の輪が広がることを祈念してニコニコします。

にここご合計 8,000 円



リバーズイニシエーション①

石原 忠始 幹事

ご紹介 (城麻里奈会員)

こんにちは。本日のリバーズイニシエーションスピーチは石原幹事からスタートしていただきます。

いつも優しく温かく、当クラブを包んで下さる石原幹事、二次会でもびしっと決めて下さる石原幹事のお話、今日はとても楽しみにしておりました。

では石原さん、よろしくお願ひ致します。

(石原幹事)

はい、入会して10年になりますけれども、新入会員の方がだいぶ増えたということで、私のことは幹事でうるさいことばかり言うという印象しかない方にとって、どういう人間なのかということを知っていただこうかと思ひまして、今日は会長命令でイニシエーションをやれということでございます。

・生まれ

自己紹介という形になると思ひますが、生まれは1950年の3月です。港区新橋で生まれ育ちまして、小学校3年までは新橋におりました。港区立桜田小学校っていう、あの一、烏森通りの機関車の左側の通り、ずっと虎ノ門方面に向かうところが烏森通りっていう通りなんですけど、その通り沿いに小学校がございまして、今もう公園になっちゃいましたけど、そこに小学校3年まで通っておりました。まあはっきり言って、夜11時くらいまで、まわりの飲み屋の子どもたちと、外でもう遊びほうけておりましたんで、宿題はやらないわ勉強はやらないわで、成績ははっきり言ってひどいものでした。ただし算数だけはですね、おふくろがやってた飲み屋の店の伝票、ですね、Aのお客さんはビール3本飲んでいくらで、ビールが1本いくらなので3掛けていくら、おつまみがこれが何個、枝豆が3個頼んでこれを合計していくらと、伝票の計算はおもしろ半分の手伝ったものですから、算数だけはまあまあでした。他の成績が2の時算数は3、他の成績が3の時算数は4とかたちです。計算だけは昔からやっておりました。小学校4年の時に今の杉並におふくろが家を建てたものですから、そちらに転校になりまして、最初は友達と別れるのがいやで、杉並から電車通学して港区まで通っておりましたけれども、それもちょっと小学校3年くらいでは無理があるということで数ヶ月で完全に転校しまして、今の住所に移ったと。それから地元区立中学を卒業して、高校が明治大学附属中野高校ですね、今野球でも結構出てますけれども大概予選の4回戦くらいで負けていい線まで行くのですがなかなか

か上へはいかない。有名どころで言うと、貴乃花若乃花が出身ですから相撲部の方が高校としては有名かもしれません。当時高校は、1クラス70人。9クラスありました。1学年630人ですね。ですから、修学旅行は北海道だったんですが、630人が大移動するってわけにはいきませんでしたので、日にちをずらしてですね、9泊10日で北海道ぐるっとまわるという修学旅行でした。まあ今みたいな東北新幹線とか北海道新幹線がある時代じゃありませんので、夜行列車で移動してバスを延々と連ねて、当然バス1台40人くらいですから9台にそれが1日ずれて2チームで、我々の先発隊は行いがよかったせいできれいに摩周湖が見えまして、あの、すばらしい景色を見たんですが、一日ずれた後発隊は霧しかみえないというようなことがありました。当時理科クラスの、理系のトップクラスにおまして、当時あの9クラスのうち文系の普通クラスが3クラス、進学、トップクラスが2クラス、理系の普通クラスが1クラス、理系のトップクラスが1クラス、それからあの落ちこぼれクラスが2クラスでまあ就職組ですね。そういう構成で理系クラスにいたんですが、大学受験は早稲田の理工学部、物理を目指しまして、見事に落ちてまして、一浪して次はがんばろうと思ったら東大紛争で、東大生がみんな東工大とか早稲田にずらずらとこう落ち込んできまして、当然レベルがあがったものですから、あの山下さんとか宮下さんはよく御存知だと思います。

・大学

あの一2度目も失敗しまして、東海大の理学部物理学科に入りました。そのときの入試の数学の試験は100点だったと思ひます。見直してまったくミスがなかったんで、もう時間前に出ちゃいました。ただ、あの早稲田もそうだったんですが、英語が非常に苦手で、たぶん英語で落ちてたと思ひます。それでいま仕事になって英語毎日使ってるって皮肉なものですけれども。大学入りまして、4年間いろんな子どもに家庭教師をやりました。おかげでいい稼ぎをいたしまして、春休み・夏休みは旅行ばかりしていました。ほぼ日本一周しましたね。あの一最初に南紀一周、東北一周、それからまあ北海道は修学旅行でやってますので、四国一周、九州一周、沖縄行って、大学3年か2年のときかな、ヨーロッパを2ヶ月ほどほつつき歩いてました。そこでですね、ヨーロッパ行ったら皆さんもご体験あるかと思ひますが、パリに行ってホテルで「部屋ありませんか？」と英語で聞いてもフランス語で返ってくるんですよ。「2泊、泊まりたいんですけど大丈夫ですか？」って聞くと、「Yes」じゃなくて「Oui」て言うんですね。で、これはちょっと英語だけじゃにっちもさっちもいかないなと思ひまして、あの大学3年の時から4年までですね、夜間の語学学校、ドイツ語とフランス語、それぞれ別の学校に通ひまして勉強しました。だからフランス語は発音が私下手でございまして、フランス人の先生にさんざ

んけちゃんけちゃんに「お前は発音がだめだ」と、たとえばホテルに行って「鍵下さい、Monsieur・・・(石原さんの流暢なフランス語は録画でお楽しみください!)」、さんざん訂正されまして、はっきり言ってフランス語は途中でギブアップしました。ドイツ語一本に絞って、そこそこ、ドイツ語だったらそんなに発音が下手だと言われることもないのかなと思ひまして、大学を卒業して教授から「就職関係の推薦状どうするの?」って言われたんで、あの「私費留学でドイツ行きます」ってということで、そのままドイツに渡っちゃいました。2ヵ月ほどゲーターエスシュートっていう全寮制の語学学校に入りまして、それからハイデルベルグ大学の入学手続きをとって、外国人のドイツ語コース、そちらの研修コースへ入りまして、普通の学生証はちゃんともらって、大学生用の旅行ですね、これを格安で。ドイツの場合基本的に当時は全部国立大学で、学費はゼロ、半期ごとに学生保険に入ることを義務付けられておりました、学生保険に入っているとまた後期の授業が受けられるということで、ドイツ語一本で勉強して、それから1年程経ってから帰国しました。

・就職

新聞広告でドイツ系の機械の商社に入社いたしました。その当時の会社の専務が日本人なんですけれども、「お前はハイデルベルグ大学に行ったのか。じゃあドイツ語喋れるな」と「じゃあちょっと喋ってみろ」っていうんでしゃべったら、その専務がドイツ語べらべらなんですよね。あとで聞いてわかったんですが、戦後すぐアメリカ軍の奨学金制度を使ってハイデルベルグ大学に留学してまして、上智を出た方なんですけど、向こうで大学院に行きまして、奥さんがドイツ人なんですよね。もうドイツ語に格段の差がありまして、「お前のドイツ語下手だな。それでよくハイデル行ってたな」とけちゃんけちゃんに言われましたけれども、まあその会社で仕事のことから機械のことから、他のメーカーへの文章の書き方から、1から何から全部教わりまして、8年そこに勤めました。8年目に当時の専務が社長になってましたんですが、50歳で心筋梗塞で亡くなってしましまして、ほとんど週に3日くらいは銀座で3軒も4軒もはしごして、それに付き合わされていたという生活でしたから、当時バブル真っ盛りですね、いけいけどんどんでお客さんの接待は当たり前、ドイツ人が来たらもう徹底的に呑むというような生活でずっとやってまして、こっちは仕事終わって帰りますっていうと、「お前今日はどんな仕事したんだよ。報告しろ」と。「そのあとみんな集めて会議やる」と。それから寿司屋行って、銀座をはしごすると。そういう典型的なバブリーな生活をやっておりました。社長が8年めに亡くなって、今度別の会社の傘下に会社ごと、今でいうM&Aで移りまして、会社の場所が当時溜池だったんですが、そこから貿易センタービルに移りました。親会社は万年筆のモンブラ

ン、それからDunhillの筆記具の輸入代理をやっておりまして非常に金回りのいい会社でしたね。そこで同じようにヨーロッパの機械を輸入販売するということで、営業部長としてばんばんやってました。バブルの時、3年連続で過去最高益を更新しまして、そのたんびに担当専務とボーナスの件で喧々諤々やりまして、1年目は留保にまわすからちょっと我慢しろと。2年目は前年比でコンマ1ヵ月プラスアルファしてやるから我慢しろと、で3年目もまた内部留保するということになり、私も部下に「今年は頑張って1ヵ月くらいプラスアルファとってきてやるから」なんて大見栄きってでた手前形が付かなくなって、3年目にとうとう切れてついに辞表を叩きつけて辞めてしまいました。

・独立

辞めた後、さあどうしようっていうことで、あの今どきの転職でしたら次が決まっていますね、そのまま辞表を出して次の会社へ移るんでしょうけども、まあ当時は喧嘩別れでしたから、ちょっと知り合いが東芝の下請におりまして、「石原さんどうしたの?」「いやあ辞めちゃったんですよ」「じゃあうちの会社で働いてよ」って話になりまして、1年程その会社にご厄介になりました。当時東芝の原子力事業部、それから東京電力、それから動燃とか、今でいう原子力関係ですね。そこは毎日営業に行っていました、東芝の原子力事業部にある、当時アメリカが事故起こしたスリーマイル島ですね、そのレポートは私が翻訳しました。で、そこに今度1年程したらドイツのほうから「お前辞めたから営業成績がひどくなってるので、もう一度うちでやらないか」というお誘いを受けまして、会社の社長に相談して、「俺にそういう話するんだったらお前やりたいんだろ」という話で、自分で独立して、それが1990年。まあ32年前ですね。それであの今に至って、昔と同じようにヨーロッパの機械を日本のお客さんに売っています。どういう機械かという、鉄の棒とか銅のパイプとかを作るような機械ですね。だいたいお客さんは決まっています。

・ロータリー入会

そこらへんが大体の経過で、東さんという方が昔うちのロータリーにおられて、その方が「石原さんちょっと遊びに来ないか」ということで誘われて、うちのロータリーに入りました。設立6年目くらいですから、あの5周年パーティー私知りませんので、うちのクラブとしては10周年パーティーから周年は参加させていただいています。それ以後のロータリーについては皆さんご存知だとは思いますが、いろいろ役員をやらされまして、会長1回、今回3回目の幹事ということで、基本的にいつも会長引き立て役で、悪いのは私という感じで幹事を務めさせていただいております。またこれからも皆さんよろしくお引き立てのほどよろしくお願い致します。ありがとうございました。



リバースイニシエーション②

田中 結加 会員

ご紹介 (富田会長)

それでは気を取り直して田中さんをご紹介したいと思います。

田中さん、今3個の活動をされてますね。インテリア設計の会社エルドラード代表を務め、幕張総合地所という不動産賃貸の会社の代表を務め、私もあまり知らなかったんですけども、NPO法人愛和会というところで千葉県の子どもたちの不登校、障がい者の子どもたちの支援、いわゆる学童、放課後教室の運営もされていると、多忙にされている方です。

それもさることながら田中さんに「こんにちはー」って久しぶりに会ったとき、田中さんの顔、めちゃくちゃ嬉しそう。これいいなあって思いますね。いつも田中さんの笑顔に癒されている毎日でございますが、イニシエーションスピーチご快諾いただいて、ありがとうございました。それではよろしくお願い致します。

(田中会員)

よろしくおねがいします。皆様改めましてこんにちは。田中結加でございます。本日は例会、オンライン例会実は初参加ということで、ほんとに申し訳ないのにいきなり会長のはからいでイニシエーション2回目、10年前くらいに1回目をして、あの2回目ということでどうぞよろしくお願い致します。10分くらいなんですけれども、1回目の時に仕事の話をもったくせず、プライベートのことだけしかお話ししなかったもので、今日ではできれば、ちょっと仕事のことを少しお話させていただきたいと思っております。

・生まれ

私は千葉県の千葉市習志野市で生まれまして、小さいときはほんとに体が弱くて、学校に行く前に注射を打って学校に行くような、それでも学校に行くと倒れてしまう、本当に両親に心配をかけて育ちました。私の一つ上の兄が知的障害ダウン症ということで、父と母が事業と共に慈善活動をする両輪を40年経って私が本当に会社も逆にぐちゃぐちゃにしてる感じなんですけれども、事業をしています。

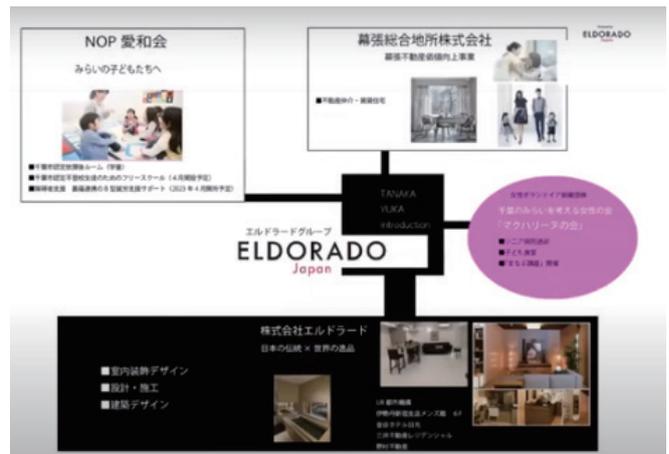
・仕事

皆様にも大変お世話になった主人が48歳で4年前に天に召されて、今はシングルマザーとして、親から会社を引き継いだんですけれども、長男が大学3年生、次男が大学1年生、長女が中学校2年生になりまして、まあ3人のシングルマザーと会社と地域のことで、いわゆるはちゃめちゃん、ぐちゃぐちゃな、毎日を過ごして

います。当時父と母の、まあ母の会社が年商15億円の黒字経営で安泰なものを引き継いだんですけれども、今もう赤字転落で、ようやく昨年V字回復でなんとか黒字経営でほんとに第二の創業として頑張っている次第です。で、今日私簡単なプレゼンを作ったので、見ていただければと思います。



私インテリアデザイナーという仕事をしております。母から受け継いで19歳の時から、インテリアデザイン、まあフラワーも一緒にやったりはしています。



・エルドラード

私の会社すごく小さいんですけども、株式会社エルドラードが室内装飾と設計施工、建築デザインということでこのお写真のやつが一応私のインテリアデザインで、しております。クライアントはもともと住宅公団UR都市機構さんだったり、ついこの間は伊勢丹新宿メンズ館6階をちょっと架空の男性をイメージしてくださいということでそうしたり、あと金谷日光ホテルさんの家具のデザインだったり、もろもろやっています。この左上のNPO愛和会というのは、主人が亡くなった後に、もともと主人がやりたかった地域の子どもたちということで、千葉市認定の放課後、学童をしています。その中でお母さんたちの声で不登校の子たちが増えてきているのでということで今度の4月に不登校の千葉市認定のフリースクールを検討しています。来年の春に障がい者支援のB型就労ということで、私の兄のような働きができるような、これは母がやりなさいってということなので、向かっています。

・幕張総合地所株式会社

地域に根付く不動産の管理とか、新しい賃貸住宅をこれから、という感じです。ピンクの丸は2017年から活動している地域の女性のボランティア活動の団体なんですけれども千葉の未来を考える女性市民の会「マクハリヌの会」っていうのを立ち上げて、この地域のシニアの方の病院送迎だったり、あと子ども食堂、近隣の大学生の子どものごはんの支援だったり、あとは学ぶ講座、先生方呼んで定期的に行っている、こんな小さな活動をたくさん、本当に小さくやっている組織です。



・本業

私の本業のほうが建築、商業だったりするんですけども、あのまったく倉庫だったところを一般の方のコミュニティスペースにするっていうようなアイデアで大きな物件とかを今やっております。



こちらのほうが、幕張の地域の方々に、マクハリヌはこういう暮らしなんですよとライフスタイルを提案しています。



・ボランティア

私の名前は父と母が結加っていう、結ぶと加えるという名前をつけてくれたんですけども、その結ぶっていう字を生かしたいなということで、先ほどのマクハリヌっていう女性の会で地域の神田外語の大学生の学生ボランティアを募って、私の運営する学童の放課後の子どもたちに無償で英語を教えています。その大学生の人たちが無償なので、そのお返しに地域のママたちのお弁当をプレゼントするっていう草の根の活動が今少しずつ大きくなって、最終的にやりたいのは幕張の不動産価値向上ということで、やっぱり地域を巻き込んで一緒に事業をしながら女性がメインということで、ようやく活動が大きくなってきています。



・最終的には

何がしたいのかなっていうときに、やっぱりその人間だけではなくて、幕張っていうのは幕張ベイなので海なんですけれどもその生きているものすべてが街とともに幸せをつくるっていうのが、最終的な不動産の価値向上につながる事業っていうことで、店舗としては洋服だったりあとはここ飲食自由なんですけれども、店舗は洋服だったり制服だったりそういうものを売って、住宅っていうのはもともと本業でありますけれども、日本らしい、日本の伝統工芸だとかとタイアップしながらやったりしています。

・ロータリー

今ロータリー10年経ったんですかね、ロータリー何もしてないんですけども千葉と東京を行ったり来たりする中でやっぱり千葉は10年遅れでいろんなものが10年遅れで来ている感じがしたんですけども、ここようやく2、3年で千葉が関東の中で追いついてきたかなっていうのが、医療においても、住宅においてもいろんなことに追いついてきた気がいたします。その中でやっぱり千葉という中でも、今まで船橋市とか習志野市とか、浦安が不動産価値としてはかなり上がっていったんですけどもようやく千葉市の幕張がぐんぐん

価値が伸びていっているエリアになります。その幕張ベイの中でも一番老舗な弊社エルドラードという会社が一番の老舗になったんですけども、主人も命がけでこの幕張でいろんな活動するなかで、命途絶えた中で、私が今やっていることはほとんど亡き主人の想いとか、どんなことがやりたかったのかなとかいうのを私が今ようやくひとつずつ実現をして、身になって、それが仕事になって、やっとほんとにやっと雀の涙くらいの黒字になってきたんですね。事業っていうのもロータリーの活動も長くやり続けることでだれかが本当に見ていてくれる、誰かがどこかで見て助けてくれるっていうのをほんとに今ようやく実感しているところです。

簡単ですけども、ほんとに何もできないんですけども、すこしずつまた復活をして自分の力でこのロータリーで今後は活躍できたらなと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。ほんとうにありがとうございました。

(要約文責 宮下)

